

経済学研究科教授会・経済学部教授会議事要録

令和5年4月12日(水)
13時30分～15時15分

議事に先立ち、新任者等の紹介があった。

[前回の議事録]

(原案のとおり承認された。)

(経済学研究科教授会)

I. 人事

1. 採用計画に基づく採用人事（経済理論）について（サーチ委員選出）

研究科長から、全学人事委員会へ要望していたミクロ経済理論分野教員の人事が条件付きで認められた旨報告の後、当該人事の進行について提案があり承認された。

続いて、サーチ委員会の5名の委員が選出された。

2. 採用計画に基づく採用人事（経済政策）について（サーチ委員選出）

研究科長から、全学人事委員会へ要望していた応用ミクロ経済学分野教員の人事が条件付きで認められた旨報告の後、当該人事の進行について提案があり承認された。

続いて、サーチ委員会の5名の委員が選出された。

3. 採用計画に基づく採用人事（環境・技術）について（サーチ委員選出）

研究科長から、全学人事委員会へ要望していたイノベーション経済学分野教員の人事が条件付きで認められた旨報告の後、当該人事の進行について提案があり承認された。

続いて、サーチ委員会の5名の委員が選出された。

4. 採用計画に基づく採用人事（現代経済）について（第一読会・決定）

令和5年3月8日開催の教授会において、講師（任期3年、更新2年）の採用審査を行うことが承認された候補者の審査報告を行った。

質疑応答の後、可否投票が行われ、候補者の講師採用が決定した。

最後に、研究科長から、発令予定日は令和5（2023）年9月1日になることの説明があった。

5. 採用人事における業績確認の論文数について

研究科長から、令和5年3月8日教授会で承認された「任期付き講師の採用においては公募時の論文「3本以内」を実質化し、1本～3本で審議に諮ることを可とする」ことについて、テニュアトラック制採用人事についても適用することを提案し、了承された。

6. 採用計画に基づく採用人事（経済政策）について（候補者提案・審査員選出）

研究科長から、令和5（2023）年4月5日開催の人事委員会です承を得た候補者の講師（テニュアトラック）採用人事について提案があった。続いて、サーチ委員長から資料に基づき説明あり、審査開始が承認され、採用審査委員3名と外部審査員1名が選出された。

最後に、研究科長から、6月14日（水）教授会で第一読会（審査報告）・投票の後決定すること、発令予定日は令和6（2024）年9月1日になることの説明があった。

回収資料1

（履歴書・研究業績）

回覧資料1-1～3

（主要論文3本）

回収資料2

（外部審査員

履歴書・研究業績）

7. テニュアトラック制講師の延長審査について

令和5年2月8日開催の教授会においてテニュアトラック期間延長審査を行うことが承認された講師（テニュアトラック）の審査報告を行った。

質疑応答の後、可否投票を行われ、講師（テニュアトラック）の延長が決定した。

8. その他

- ・テニュアトラック制の任期について

研究科長から、今後、テニュアトラック制の任期について、規定を見直し、より長期の任期を検討したい旨の説明があった。

（経済学研究科・経済学部教授会）

I. 審議事項

1. 契約教員（特任助教）の雇用（職名）変更について

資料1

研究科長から、令和4年11月9日教授会で契約期間の延長を承認された契約教員（特任助教）について、学位を取得したことから、5月1日付けで特任講師へ雇用変更することを提案し、承認された。

2. 教員の海外渡航について

研究科長から、下記について説明があり、承認された。

Philip Maclellan 教授

期間：5月27日～9月5日（計102日）

渡航先：カナダ ハリファックス及びシャーロットタウン

目的：Best Practices in Global Research Collaboration Conference への参加、及びプリンスエドワード島における調査研究 (Sustaining Post-Covid Momentum: Managing the Transition to a New Normal) また、研究科長から、今後も教員の長期海外渡航が増加する傾向を予想するので、ゼミはオンラインで行うことで、海外出張を許可したい旨のアナウンスがあった。

3. 2023 年度レーアプランの変更について

研究科長から下記 1 科目の変更について説明があり、承認された。

<開講中止>

科目名：特別講義（金融工学とリスクマネジメント）

担当教員：碓井 茂樹

開講時限：秋冬学期・金曜・6 時限

4. 2023 年度非常勤講師について

資料 2

研究科長から、レーアプラン決定以降変更の生じた非常勤講師の雇用について、資料に基づき説明があり、承認された。

5. 成績の訂正について

研究科長から説明があり、3 科目の成績訂正について承認された。

6. 一橋大学客員研究員受入れについて

資料 3

研究科長から、資料に基づき説明があり、承認された。

なお、最終決定は、研究機構会議となる旨の補足説明があった。

氏名：Campbell, Cameron (キャンベル キャメロン)

香港科技大学社会科学部 講座教授

受入期間：2023 年 6 月 15 日～2023 年 8 月 15 日

受入教員：Matthew Noellert 准教授

7. その他

研究科長から、今年度の教授会、研究科委員会の開催方式について、オンライン開催を当面継続する方針を提案し、承認された。

II. 報告事項

1. 2024 年度サバティカルについて

資料 4

研究科長から、希望者は 6 月末日までに研究科長（CC 事務長）宛に申し出るよう依頼があった。なお、応募者は事前に所属部門等の了承を得ておくことの補足説明があった。

2. 令和5（2023）年度全学委員会委員について 資料5
研究科長から、過年度委員の誤記載の修正等があったことから、あらためて報告する旨説明があった。
3. 法人監査室の設置に伴う学内規則の制定、一部改正及び廃止について (部 2.15_1) 資料6
研究科長から、資料に基づき報告があった。
4. 国立大学法人一橋大学職員就業規則等の一部改正について (部 3.2_14) 資料7
研究科長から、資料に基づき報告があった。
5. 国立大学法人一橋大学ハラスメントの防止等に関する規則及び一橋大学ハラスメント対策委員会規則の一部改正について (部 3.2_15) 資料8
研究科長から、資料に基づき報告があった。
6. ソーシャル・データサイエンス学部・研究科設置に伴う学内規則の廃止、制定及び一部改正について (評 3.2_14) 資料9
研究科長から、資料に基づき報告があった。
7. 一橋大学施設マネジメント委員会規則の一部改正について (部 3.15_3) 資料10
研究科長から、資料に基づき報告があった。
8. 「一橋大学ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン推進宣言」の制定について (部 3.15_6) 資料11
研究科長から、資料に基づき報告があった。
9. 一橋大学学則の一部改正について (評 3.15_1) 資料12
研究科長から、資料に基づき報告があった。
10. 内藤章記念賞授与内規の一部改正について (評 3.15_2) 資料13
研究科長から、資料に基づき報告があった。
11. 国際・公共政策大学院認証評価（令和5年度実施）について (評 3.15_3) 資料14
研究科長から、資料に基づき報告があった。

12. 令和5年度年度計画について (評 3.15_6) 資料 15
研究科長から、資料に基づき報告があった。
13. 2023 (令和5) 年度一橋大学省エネ計画について (部 4.5_8) 資料 16
研究科長から、資料に基づき報告があった。
14. 令和4年度内部監査 (業務監査 (法人文書管理及び個人情報管理等)) (部 4.5_14) 資料 17
の結果報告について
研究科長から、資料に基づき報告があった。
15. 国際・公共政策大学院とソウル大学国際大学院との部局間交流協定 (評 4.5_2) 資料 18
(学術) の締結について (新規)
研究科長から、資料に基づき報告があった。
16. 2023 (令和5) 年度大学院募集要項 (案) について (評 4.5_3) 資料 19
研究科長から、資料に基づき報告があった。
17. 中期目標・中期計画の変更について (評 4.5_5) 資料 20
研究科長から、資料に基づき報告があった。
18. 第4期中期目標期間の業務実績評価に係る実施要領等について (評 4.5_6) 資料 21
研究科長から、資料に基づき報告があった。
19. 令和4年度実施法科大学院認証評価結果について (評 4.5_7) 資料 22
研究科長から、資料に基づき報告があった。
20. 第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価結果について (評 4.5_8) 資料 23
研究科長から、資料に基づき報告があった。
21. ロンドン・スクール・オブ・エコノミクスとの大学間交流協定 (学 (評 4.5_9) 資料 24
生) の締結について (更新)
研究科長から、資料に基づき報告があった。

22. 経済学研究科・国際・公共政策大学院とパリ第一大学経済学研究科との部局間交流協定（学生）の締結について（更新）
研究科長から、資料に基づき報告があった。 (評 4.5_10) 資料 25
23. 令和 4 年度（令和 5 年 3 月）卒業者数及び修了者数について
研究科長から、資料に基づき報告があった。 (評 4.5_11) 資料 26
24. 2023 年度転学部、再入学、学士入学、複合領域コース編入学及び聴講生選考の実施結果について
研究科長から、資料に基づき報告があった。 (評 4.5_12) 資料 27
25. 令和 5（2023）年度（令和 4（2022）年度実施）大学院入学者選抜の状況について
研究科長から、資料に基づき報告があった。 (評 4.5_13) 資料 28
26. 令和 5 年度学部入学者選抜実施結果について
研究科長から、資料に基づき報告があった。 (評 4.5_14) 資料 29
27. 若手研究者雇用支援事業への申請について
研究科長から、資料に基づき報告があった。 (評 4.5_15) 資料 30
28. その他
- (1) 清談会の収支報告及び次期幹事について
研究科長から、3 月 31 日に開催されたオンライン清談会について、幹事、出席者に謝辞があった後、今年度収支の説明があった。続いて、研究科長から、次期幹事の紹介があった。 資料 31
- (2) 寄附金の機関経理の徹底について
研究科長から、資料に基づき、教育研究等の助成を獲得した場合の注意喚起があった。 資料 32
- (3) その他
- ① 出張講義について
研究科長から、今後、模擬講義の研究科独自の窓口廃止について検討することの説明があった。
- ② 現代経済システム研究センターについて
研究科長から、本センターの廃止の方針について説明があった。

- ③ 派遣留学制度の留学期間及び滞在先に係る制度変更について
研究科長から、派遣留学制度の規定の変更について説明があった。

- ④ 入学者選抜（一般選抜前期日程）の出題ミスについて
研究科長から、出題ミスの説明及び問合せ対応等のアナウンスがあった。

Ⅲ. 次回開催予定

令和5年5月17日（水）13時30分 定例教授会

[注意] GWのため、第三水曜日開催